

生涯学習

No.584

かおり高い 文化のまち

新しい年に思うこと

教育長職務代理者

藤澤 ふじさわ

美樹 みき



令和元年7月から下諏訪町の教育委員として活動させていた中で、小学校や中学校の入学式や卒業式、運動会や参観日など様々な行事に学校を訪れる機会があります。南小学校の新しい校舎は廊下が広く開放的で、この役に就かなければ見ることができなかつたと思います。参観日には、保護者の方が来

られる前に校長先生のご案内で松崎教育長と全クラスを見てまわります。子ども達の日常の姿を見られるこの時間は、自分にとってとても楽しく興味深い時間です。授業を受けている姿も、教室内の展示物や廊下の絵や習字などの作品を見るのも、それぞれの個性が感じられて「すごいな」と感心しますし「こんなのもありだね」と、その感性や表現力に驚かされます。子ども達は「可能性のかたまり」なのだと感じます。そんな参観日ですが、コロナ禍による影響で、現在は北小・社中と南小・下中、それぞれ二人ずつに分かれて伺っています。

す。以前は年度の最初と最後は教育委員4名全員で小中4校に伺っていましたが、それも叶わず、コロナの影響で中止になることも多くなりました。参観日だけでなく、運動会や音楽会、入学式や卒業式など、子ども達の晴れ舞台には本来、多くの地域の皆さんが来賓として参加されていました。卒業式や入学式に参列されていた方からは、「いや、見たかった。本当に残念」とのお声をいただいています。放課後子ども教室や祖父母参観など、地域の方が先生になって手品を披露したり、得意な分野で子ども達に勉強や遊びを教えてくれたり。コミュニケーションの活動で支えてくださる方もいらっしゃいます。そんな地域と学校、家庭が互いに連携して、子ども達の学びや育つ



下諏訪南小学校廊下

環境をより良いものにできる本来の姿が、一旦途切れてしまっている状況です。多くの住民が子ども達の門出と一緒に祝える日が、一日も早く戻って来ることを期待してやみません。教育委員として最後の年となりますが、微力ながらもできる限りのことをして、後悔のない4年間にしたいと思います。

新年を迎えるにあたり

下諏訪町PTA連合会長 林 修司はやし しゅうじ



新年明けましておめでとうございませう。新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は今年度、下諏訪町PTA連合会長として各方面でお世話になっております。PTA活動は2年前、母校である下諏訪南小学校の創立50周年記念事業実行委員会の役員としてスタートしました。

歴代PTA理事の猛者もさたちが集まったこの実行委員会はいわばオールスターチーム。それまで何も経験していない私は会議を重ねるたびに劣等感を感じたのを覚えています。また過去の周年事業を振り返った時、特に20周年記念事業においては凄まじい努力と時間、資金をかけて開催されていたことを知りPTA役員の方々に改めて敬意を抱きました。今年度の下諏訪町PTA連合会長は、諏訪地区全体のPTA連合会の副会長も兼任することになっており、パソコン仕事はそれほど苦手ではない私は、オンライン会議の設定などを任せられることになりました。

コロナ禍以降は、オンライン会議が多用され、PTAの会議でも使用する頻度が多くありますが、ただ話をするだけでなく参加者を分けてグループワークを行ったり、参加者全員が同じワークシートをリアルタイムで共有しながら記入し課題を完成させたり、決議をとったり、できることがたくさんあります。担当になると多方面から問い合わせがあり、その度に自分で調べては伝え、調べては伝えを繰り返してきたことで自分もそれなりに詳しくなりました。PTA活動というどうしても消極的なイメージを持つ方も多くいると思いますが、自分にはむしろプラスに作用したと思っています。

このようなオンライン会議システムはもはやニュースタンダードとなりつつありますが、それでもやはり実際に人と人が集まるからこそ生まれる感動や、人と人が繋がるからこそ生まれる力というものは、未来永劫受け継がれてほしいものです。

新年になってもおそらく他の人とはある程度の距離を保ちながら生活していると思います。以前のようにひとつの空間に大勢が集い、そこにいる全員が訪れるのを願ってやみません。



オンライン会議



人間性

東赤砂 伊倉 大哉



せん。

高校卒業後、私は大学進学のため、親元を離れ生活を続けています。環境も一転し、多忙な日々ではありますが、毎日が楽しく充実しています。そんな中でも一番に感じることは、両親への感謝です。炊事や洗濯、お金を稼ぐという大変さ。全て自分の肌で感じなければわからなかったことです。

私は今の生活から「人間性」というものが大人になるにつれて非常に重要であると考えています。今になって始まったことではありませんが、たくさんの人と接する機会が増えていくにつれてしみじみと感じます。社会に出ていけば、今以上に人との関わりが増えていく世の中です。良好な人間関係を築いていくためには自身の人間性はもちろん、相手の人間性を見極めることも必要です。

地元には、たくさんさんの友達がいます。会える時には集まり、会えない時には連絡を取り合っています。どんな形であれ、無くてはならない関係であり、手放してはいけない友人ばかりです。これも人間性から生まれた大切な繋がりの一つです。良好な人間関係を築いていくことができれば、繋がりという大切さにも気づくことができます。人間関係には心を寄り添ってもらえるような人脈が必要であり、私はそんな大人になる事を目指します。

二十歳になり、改めて自覚を持ち、感謝の気持ちを忘れず、明るく、謙虚に、前向きに努力し、挑戦し続けようと思います。

二十歳を迎えての決意

曙町 兒玉 佳那子



はもちろん、サークルやバイトの仲間と遊びに行ったり、好きなアーティストのライブに行ったりと、ずっと夢見ていた、充実した大学生活を送ることができています。電車を使うだけでなく、どこへでも行け、テレビで見たおしゃれなお店なども行こうと思えばいつだって行けます。とても便利で、東京に進学することに決めて良かったなと思います。

しかし、ふと、地元である長野県、下諏訪町を思い出すことがあります。自然豊かで時間がゆっくり流れている感覚、空いている電車やすれ違った近所の方と挨拶を交わすことなど、全てが懐かしく温かく感じられるのです。コロナのためめったに帰省することができなかつたのですが、帰ってくればいつも私の居場所はここなのだ、下諏訪町はとても素敵な場所だったのだなと感じさせてくれます。

私は今のところ、大学卒業後すぐに長野県に戻ることにするのかまだ分かりません。しかしいつかは長野県に帰ってきたいと思っています。それまでにたくさんさんの知識や能力を培い、私を育ててくれた長野県、そして下諏訪町に何らかの形で還元できるような大人になりたいです。そのためにも、まずは、これからたくさんさんのことを経験したいと思っています。



我が家の愛犬 征十郎

二十歳になって

矢木町二 杉山 孝太



「二十歳を迎えての決意」といっても自分が大人になったという実感はあまりありません。飲酒など制度上できることが増えたというだけで、経済的にも精神的にも自立からは程遠いという自覚があります。ボーッと生きていたら、あっという間に二十歳になってしまいました。

というより今時二十歳の学生でちゃんとした大人になっている人があるのでしょうか。周りにいる二十歳を思い浮かべたとき、大人になっている人などいるだろうかと思っています。

良い機会だったので自分が中学生だった頃を思い返してみると、二十歳を超えた人は等しく「大人」だと思っていました。誰であろうと、みんな同じ大人の枠組みに入れていました。今考えれば、かなり無理があります。そして大人はあらゆる面でちゃんとした人であると思っていて、そうでないといけないとも思っていました。もちろん、そんなはずはありません。大人も自分と同じ人間である、という認識がなかったのかも知れません。今では自分が大人になっていて、どんなに責任や権力がある人でも、みんな同じ人間であるということが分かっています。だから他人に対して許せることも増えてきました。そこは僅かでも成長かもしれない。しかし、それ以外で成長したこととあまり思い浮かびません。

何が言いたいかというと、あの頃自分が思っていた大人になるのは無理だろうなということ。このペースだと、自分が思っていたようにならんとした大人には死ぬまでなれそうにないので、少しづつでも成長していくしかないと思います。よって決意としては、これから少しでもちゃんとした大人に近づく、今までお世話になってきた方たちに恩返しをする、というところで妥協させていただきます。

二十歳を迎えての自覚

萩倉 増沢 加那



誕生日を迎える前まで二十歳になるということは私の中で特別なものであると考えていました。しかし、いざ誕生日を迎え二十歳になった時私が思ったのは、「何も変わらないな」ということです。

変化がないということに対して、思うことは人それぞれですが、私は幸せなことだと考えています。

今、私は医療系の専門学校に通っています。日々、体験するものが新鮮に感じ勉強量は今までとは比べものにならないくらい多く大変ですが、周りの友人と共に楽しく学校に通えています。こうして不自由なく生活できているのは、私を支えてくれている家族の存在がとても大きいです。

小さい頃から、落ち着きがなく、高校では二度の大怪我をし、手術も経験しました。その時、毎日のようにお見舞いに来て、そばで支えてくれたのは家族でした。振り返ると、つらい時、常に寄り添って助けてくれたのは家族という大きな存在でした。

今まで、自分の思うまま、やりたいことができていたのは、本当に幸せなことだと実感しました。二十歳になり大人の仲間入りをしたので、全てのことに責任がついてくると思います。めでたいことではありますが、決して周りに迷惑をかけないように、自分で責任のとれる行動を心がけたいと思います。

また、少しずつこれまでの感謝を親孝行という形で家族全員に恩返ししていきたいように成長していきたいと思えます。



令和4年度 町民総合文化祭

芸能祭 10月2日(日)

芸能に向ける人々の想いと文化



芸能祭実行委員長
ひつぽほつぽあ
濱 三枝

今年度、コロナ禍により中止となっていた下諏訪町民総合文化祭が3年ぶりに催されました。その間、活動を休止した団体もあれば、規模を縮小して続けてきた団体もありましたが、各団体からの強い要望により今年度は13団体の参加で芸能祭を行うことができました。

人類の歴史が始まって以来、人々はずっと嬉しいときには歌い、楽しい時には踊り、そこに込められた願いや祈りを自らの身体をもつて表現してきました。それが長い間伝承されてきたものが芸能です。

今年度の芸能祭ではそのような文化や芸能の歴史を感じられる様々な芸能活動をしている団体が一堂に会して発表を行いました。



ご来場いただいた皆様には着物や民族衣装を着て踊る舞踊やフォークダンス、丁寧な声を合わせた民謡や詩吟を聴きながら悠久の時を感じ、チャダンス、ジャズダンス、ヒップホップを見て新しい文化とパワーを感じていただけたことかと思えます。

まだまだ安心とは言えない状況下で行われた発表でしたが、そんな中で来場者、出演者の皆様の嬉しそうな笑顔を見ることができたことをとても嬉しく思います。

これからも様々な団体が活躍し、下諏訪町が明るく元気なものとなりますように、来年度はさらに多くの団体が参加して盛り上げていってほしいと心より願っています。

作品展 9月30日(金)

10月2日(日)



作品展実行委員長
フォト金耀会
小口 誠

長期化するコロナ禍の影響あるなか10団体312点の出品があり、作品展が開催できましたことを喜ばしく思います。

私共も平成16年に諏訪デジカメネットの会として発足して以来、町の文化祭には平成20年から参加させていただき、今年で13回目の展示になりました。会員の高齢化もあり、一旦解散の後、新たに「フォト金耀会」として再結成し活動を再開しました。春に花言葉写真の展示・秋に町の文化祭参加・一年の締めくくりに写真展、その他折々の撮影会と、月2回のパソコンによる写真処理技術の講座などが主な活動です。文化祭には毎年メインテーマを決めて、各々それに沿った展示を心掛けてきました。

今年は3年ぶりの開催で全員がパノラマ写真に挑戦しました。



伝えたい場面を強調することで、迫力ある展示ができたのではないかと自負しております。会員の高齢化問題は私どもばかりでなく、参加団体が減少したことを寂しく思います。それでも今回は、パーティーションの運び出しなど、町の応援がありがたく、体力不足で展示を見合わせた団体等がまた参加できるようになることを願っております。

「インスタ映え」に象徴されるように、もう印刷して展示するという時代ではないのかもしれない。画面の中で一人鑑賞するのが今風なのでしょうか。それでも仲間と一緒にカメラを持って野山を歩き回る楽しさは捨てられないのです。

音楽祭 10月23日(日)

待つてました3年ぶりの音楽祭！



音楽祭実行委員長
シルキーナイツ
小口 俊吉

町民総合文化祭・音楽祭は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてここ2年間は中止してきましたが、音楽祭開催に向けての打ち合わせの中で「時節柄自粛すべきである」「コロナ禍でもできる音楽祭を行ったら」という意見が出た結果、後者に決定しました。

この決定は、なかなか練習ができない、何とか練習はできても発表会の機会が持てずモチベーションの維持に苦慮している団体が多く「二度舞台に立ってみたい！」という強い思いに駆られた結果ではなかったでしょうか。コロナ対策を講じて実行したこの音楽祭は、例年であれば約20団体が参加するところ7団体でした。あの元気な小中学生の団体の姿はありませんでした。

小学生の影アナで始まった音楽祭の楽器の生演奏は何といつても迫力があり、思わずリズムに合わせて体が動いたり、大河ドラマのシーンを思い浮かべたり、箱型打楽器の奏でる高音・低音は神秘的な世界に導いてくれたり、また混声合唱、男声合唱の特色ある美しいハーモニーや重厚感は胸に響くとともに懐かしくほのぼのとして、過ぎ去ったあの頃を彷彿させてくれました。

総じて音楽は、私たち高齢者にとつてはもちろんのこと、音楽を愛する人たちにとつても右脳の活性化を促進するうえでこの上ない近道であること、そして音楽を聴くことによつて得られる昂揚感は何物にも代えがたい宝物です。

コロナ禍にあつてもずっと私たちを支えて練習に送り出していただいたこと、舞台に立つてお客さんの前で演奏ができた幸せ喜びは力強い家族の後押しがあつたからです。また最後まで熱心に聴いていただいたお客さんに改めて感謝します。

結びに、これからも「みんなで作る音楽祭」として小中学生諸君や多くの団体に参加していただき、さらに進化し実行できることを心から願っています。



下諏訪町民総合文化祭 音楽祭



9月30日(金)
町民文化祭オープンセレモニー



秋宮スケートリンク 氷上祭のお知らせ

日時 令和5年1月15日(日) 午前9時～正午(開場 午前8時30分)
※悪天候またはリンクの状態が万全でない場合は中止とします。
中止の場合は7時30分にメール配信でお知らせします。

場所 ふれあい広場 秋宮スケートリンク
持ち物 帽子、手袋、マスク、スケート靴
※スケート靴はなくてもOK!
帽子、手袋、マスクの着用は必須です。

その他 駐車場がありませんので徒歩でご来場ください。
新型コロナウイルスの拡大状況により中止する場合があります。

問い合わせ 下諏訪町教育委員会 教育子ども課 スポーツ振興係(下諏訪体育館内・火曜休館)
☎27-1455 E-Mail sports@town.shimosuwa.lg.jp



氷上ボウリング

参加費 無料

事前申込不要
当日受付



メール配信システムはこのQRコードを読み取ったリンク先の案内に従い登録してください。



下駄スケート体験

ほかにも、障害物競走など楽しい種目が盛りだくさん！ぜひご参加ください！

